

景観チェックリスト【行為別基準～工作物～】

評価欄： ◎十分配慮した ○配慮した ー該当なし

	行為別基準	評価	配慮したポイント
	周辺からの見え方に配慮し、良好な景観を阻害しない配置、規模とするよう工夫する。		
	周辺との調和を図るとともに、圧迫感や違和感を与えず、すっきりと見える形態意匠とするよう工夫する。		
	建築物に付帯する場合は、建築物との調和を図り、全体としてまとまりのあるものとするよう工夫する。		
	付帯する設備等は、周辺からの見え方に配慮し、工作物本体との一体的な処理による配置、形態意匠、遮へい等により、露出しないよう工夫する。		
	地域の歴史や文化を伝える既存の樹木や樹林、斜面林等の保全・活用に努める。		
	素材は、耐久性があり、汚れが目立たないものとし、光沢のあるものや反射光を生じる素材の過度な使用は避けるものとする。		
	道路境界部は、設備機器類を遮へいするよう、緑の創出や道路と一体となったオープンスペースの修景等に努めるとともに、堀や柵等を設置する場合は、設置位置、高さ、形態意匠等に配慮し、うるおいやゆとりを与えるよう工夫する。		
	擁壁・法面は、圧迫感を与えない高さに抑えるとともに、自然素材の活用、周辺と調和する形態意匠、位置の後退による前面の緑化等を工夫する。		

景観チェックリスト【行為別基準～工作物～】

評価欄： ◎十分配慮した ○配慮した ー該当なし

	配慮指針	評価	配慮したポイント
	照明は、周辺や建築物との調和に配慮した光のあり方を検討するとともに、場所の魅力を引き立てるよう工夫し、回転サーチライト等の過度な光による演出は避けるものとする。		
	緑化を行う際は、その土地の気候や地形条件、敷地環境に配慮し、四季を感じさせる樹種や風土に合った樹種、土地に馴染みのある既存種や在来種などの樹木を選ぶ。		